

報道関係各位

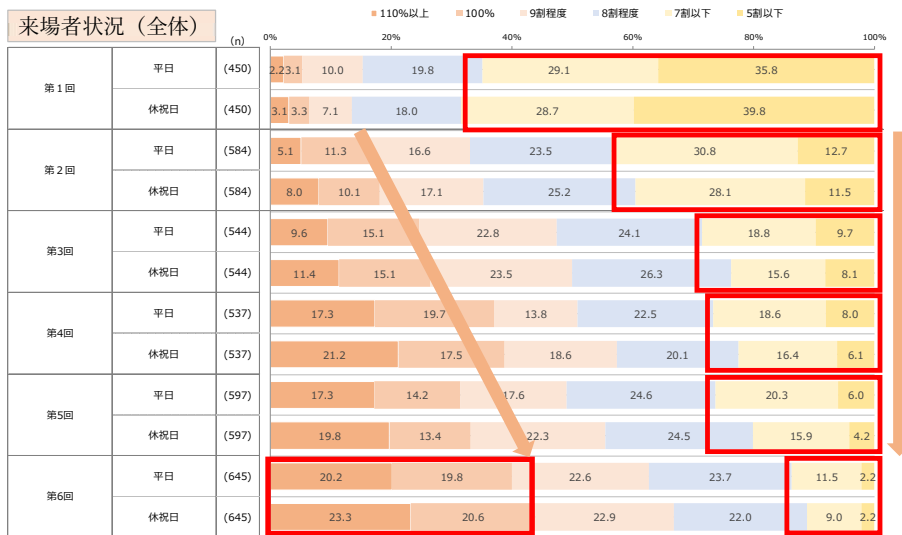
一般社団法人全国道の駅連絡会

〈第6回 新型コロナウイルス感染症による経営実態調査〉

全国の道の駅、来場者数・売上ともに新型コロナ感染症拡大前へ復調が顕著に

～集客のための企画・開発と「人材確保」が課題～

一般社団法人全国道の駅連絡会（会長 石井 裕）は本年3月から4月にかけて、全国の道の駅を対象に、新型コロナウイルス感染症によって受けた経営的な影響について、第6回目の定量調査を行いました。その結果、来場者数は新型コロナ感染症拡大前の同時期に比べて「同等以上」とした道の駅が4割強、売上についても5割超となるなど、回復傾向が顕著となりました。大きく落ち込んでいた団体客や外国人観光客の回復傾向も見られました。



全国道の駅連絡会では緊急事態宣言が発出された2020年4月より定点調査を行い、今回で6回目となります。

(今回の調査期間: 令和5年3月28日～4月19日、回答駅数: 687 駅、有効回答数: 645)

その他、今回の調査では、今後も継続が必要と思う感染症対策として「施設内の定期的な換気」(81.2%)、「レジ等での飛沫防止シート等の設置」(47.0%)が多くあげられ、「ソーシャルディスタンスやマスク着用」は約3割程度であることがわかりました。また、今後の経営上の優先課題としては「集客イベントの実施」が最も高く(73.1%)、続いて「地域内の観光、文化施設などと連携した集客サービスの開発」(62.2%)の期待が高い一方で、「人材確保」や「人手不足」をあげる道の駅もみられました。(詳細は別添参照)

【問い合わせ先】 一般社団法人全国道の駅連絡会 事務局 早川 (03-5621-3188)

第6回 全国道の駅
「新型コロナウイルス感染症による経営実態調査」
報告書 (ダイジェスト版)



全国道の駅連絡会
2023年7月

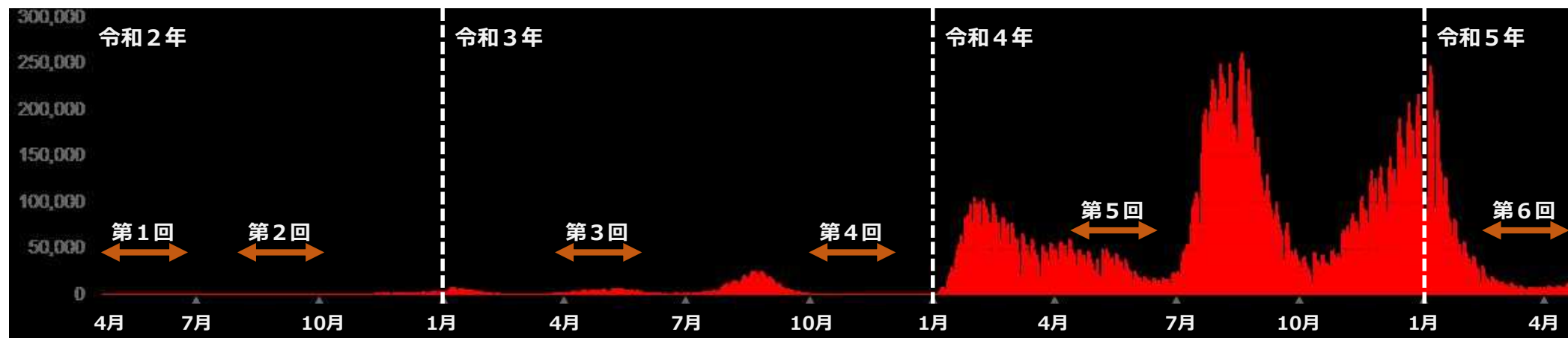


調査概要

- 本年4月、全国の道の駅を対象に、新型コロナウイルス感染症によって受けた経営的な影響について定点調査を実施。
令和2年4月・9月、令和3年4月・10月、令和4年5月実施の調査と比較。

【概要】

- 調査方法：インターネット調査
- 配信駅数：1,204駅
- 回答駅数：687駅
- 実施期間：第6回（令和5年3月28日～4月19日）
 - <参考> 第1回（令和2年4月21日～5月10日）
 - 第2回（令和2年9月04日～9月23日）
 - 第3回（令和3年4月01日～4月28日）
 - 第4回（令和3年10月7日～11月1日）
 - 第5回（令和4年5月13日～6月6日）





回答道の駅のプロフィール（分布）

● 地域、売上金額、年間来場者数・構成による分布：ほぼ同様（定点調査）

<地方別回答駅分布>

駅数内訳	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	全国
回答駅数（第1回）	71	98	61	52	101	69	48	52	74	626
回答駅数（第2回）	51	105	58	53	94	66	48	41	69	584
回答駅数（第3回）	59	93	65	41	75	70	43	32	72	550
回答駅数（第4回）	64	73	76	48	81	59	55	29	61	546
回答駅数（第5回）	56	90	79	54	91	73	49	41	67	600
回答駅数（第6回）	63	109	85	57	109	73	58	50	83	687

第1回



第2回



第3回



第4回



第5回



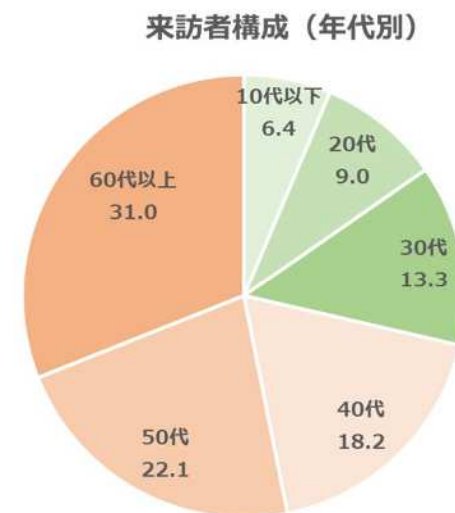
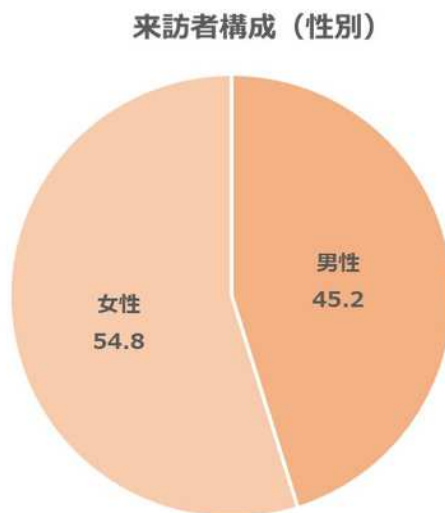
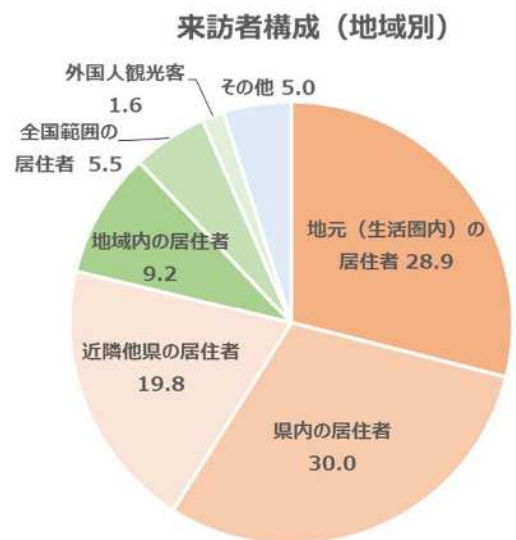
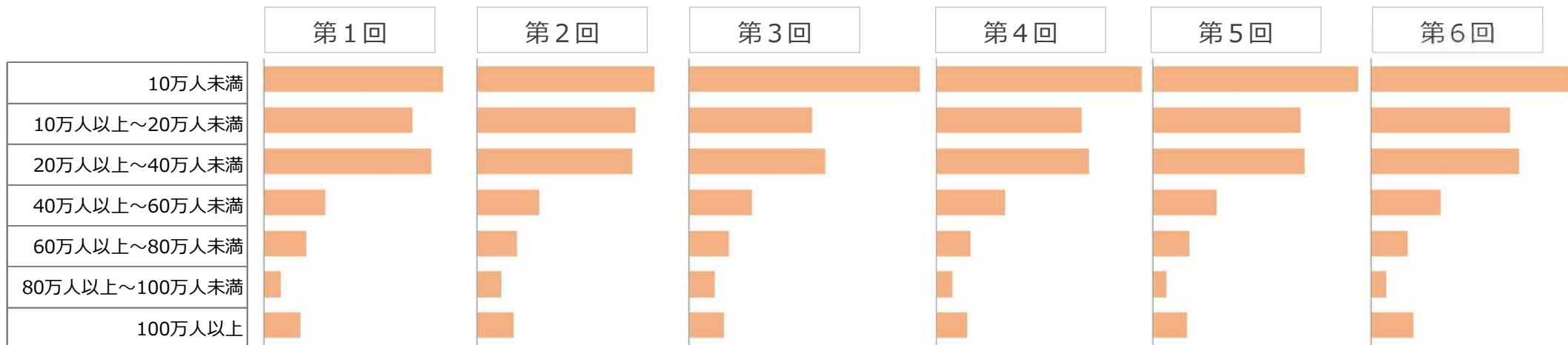
第6回





回答道の駅のプロフィール（分布）

＜来場者数による回答駅分布＞



【第6回】

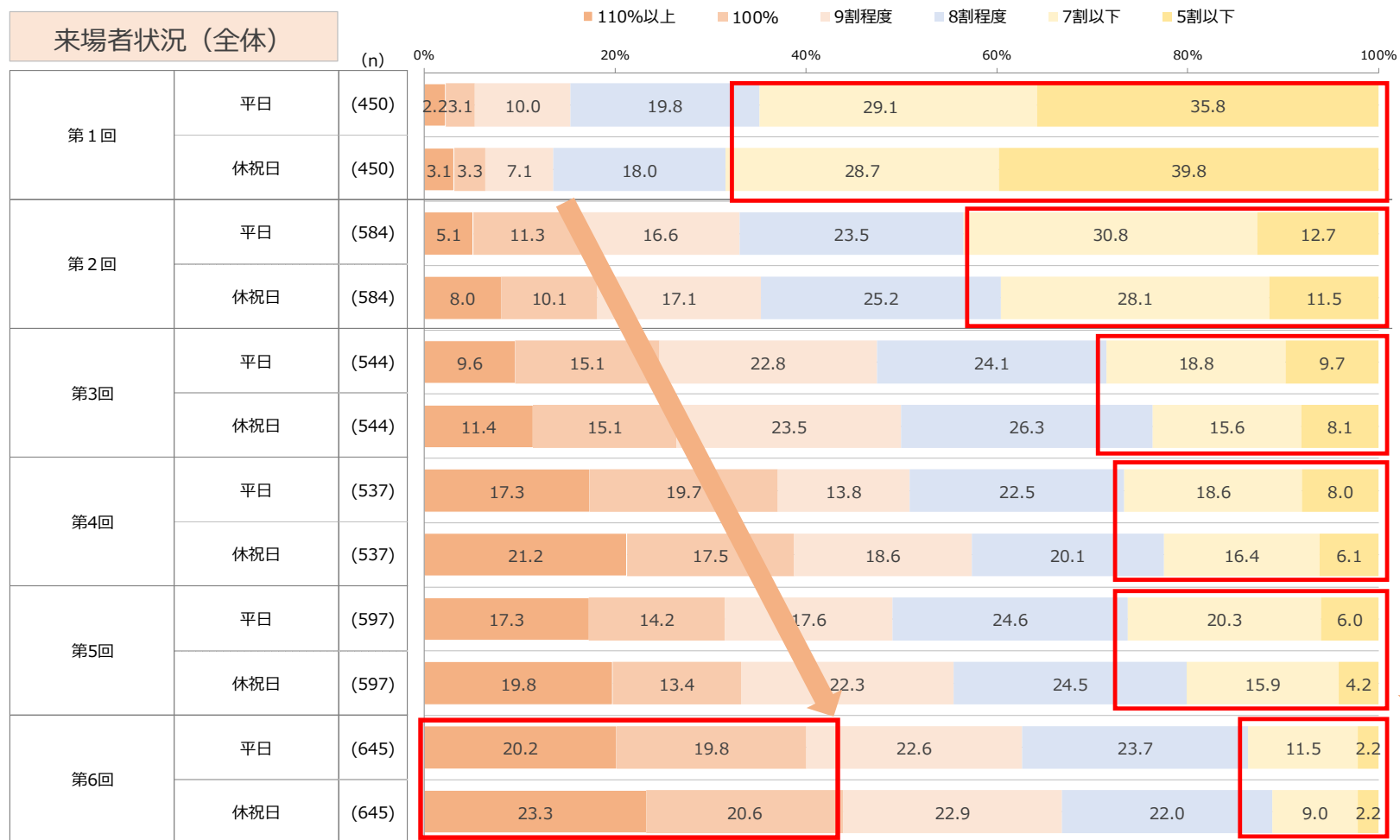


調査結果（来場状況 全体）

【来場状況 全体】

- ・ コロナ感染症発生3年後の現在、
来場者数が「対コロナ発生前2019年同時期比7割を切る」駅が**約1割**、その中で「5割以下」は**約2%**と、
回復が顕著
- ・ 平日より休祝日の回復がやや高い

【有効回答ベース】



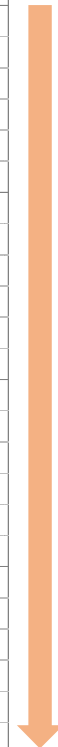
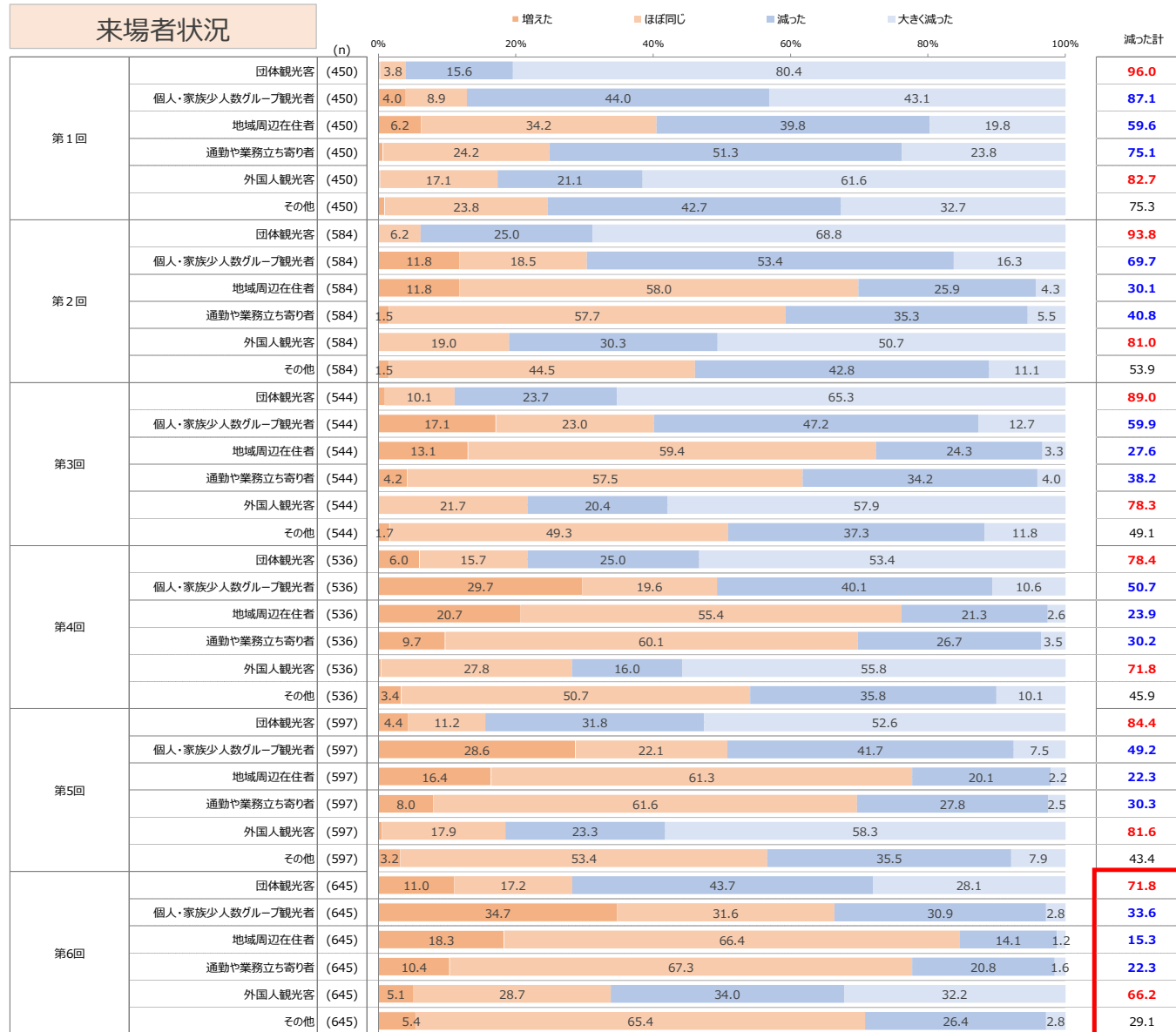


調査結果（来場状況 属性別）

【来場状況 属性別】

- 来場者属性別では、「**団体観光客**」「**外国人観光客**」の回復傾向がみられる

【有効回答ベース】





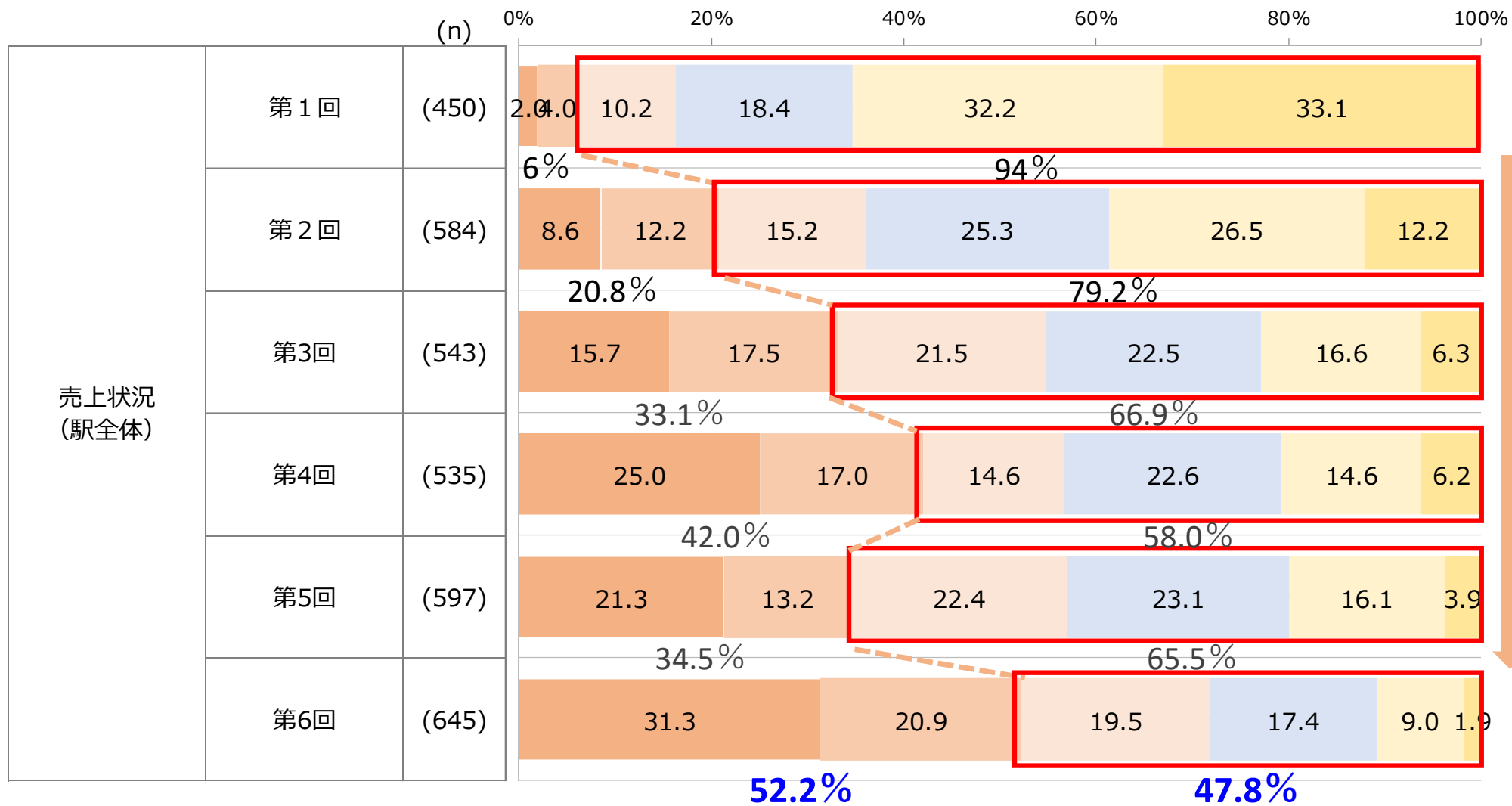
調査結果（売上状況 駅全体）

【売上状況 駅全体】

【有効回答ベース】

- ・感染症発生3年後の現在、売上状況が「対コロナ発生前2019年同時期比同等以上」駅が52.2%と、半数の駅において売上が回復。

■ 110%以上
 ■ 100%
 ■ 9割程度
 ■ 8割程度
 ■ 7割以下
 ■ 5割以下

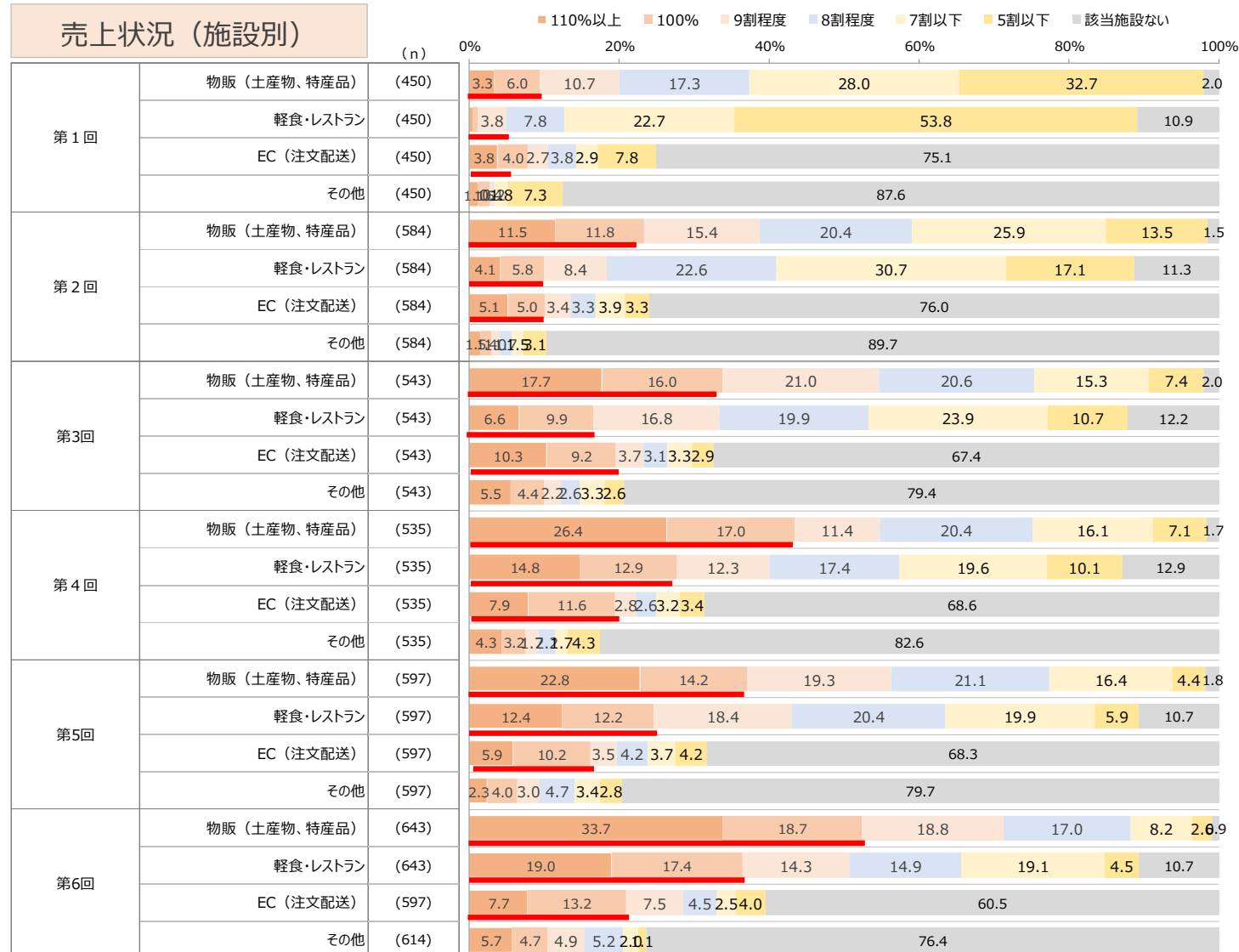




調査結果（売上状況 施設別）

【売上状況 施設別】

- 対感染症拡大前比「同じか増えた」駅の増加と、全施設において回復傾向



【有効回答ベース】

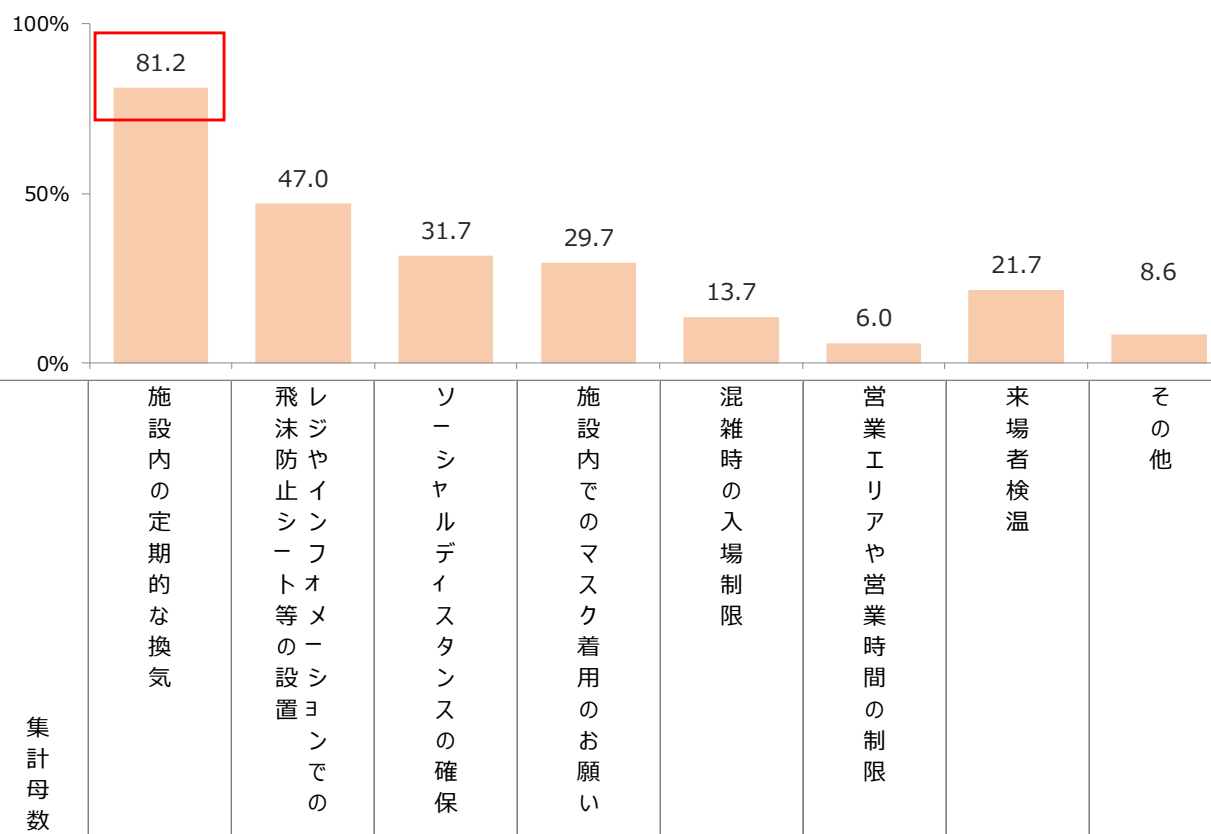


調査結果（今後も必要と思う感染症対策）

【今後も必要と思うコロナ感染症対策】

- ・今後も必要と思うコロナ感染症対策として、「施設内の定期的な換気」が最も高く、続いて「レジやインフォメーションでの飛沫防止シート等の設置」が続く
「ソーシャルディスタントやマスク着用」は約3割に達している

今後も必要と思うコロナ対策



今後も必要と思うコロナ対策 (MA)	687	81.2	47.0	31.7	29.7	13.7	6.0	21.7	8.6
--------------------	-----	------	------	------	------	------	-----	------	-----

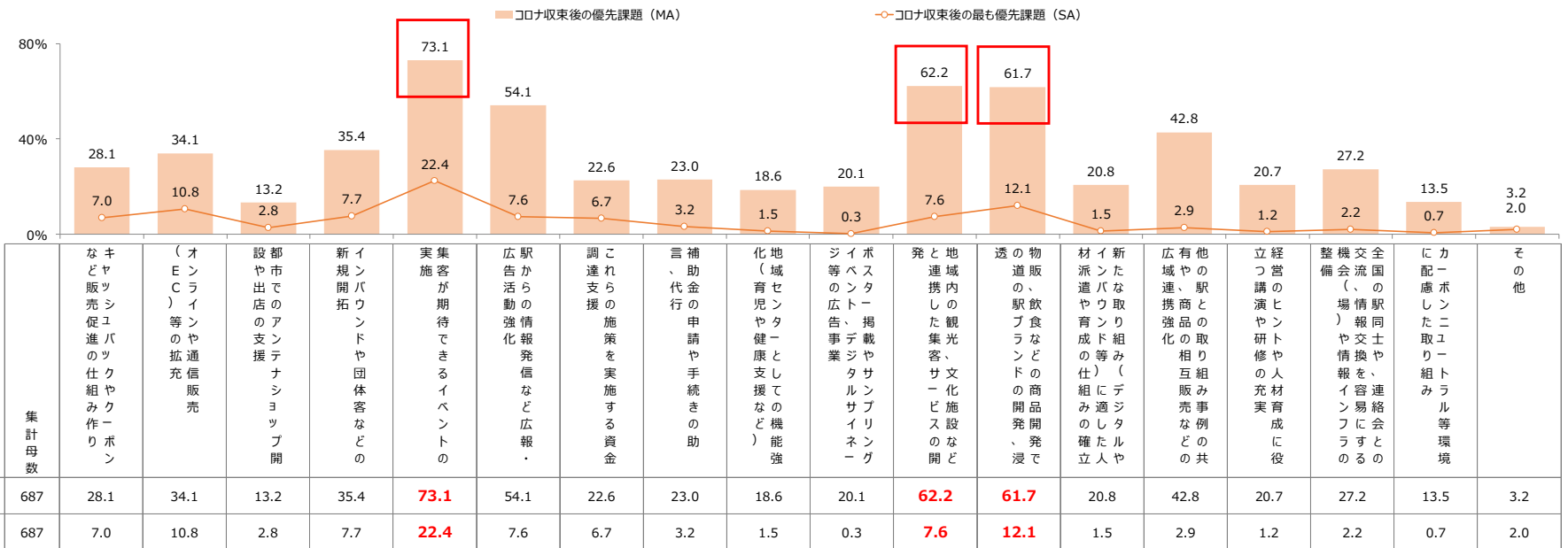


調査結果（新型コロナウイルス感染拡大収束後の優先課題）

【新型コロナウイルス感染拡大収束後の優先課題（マクロ）】

- 「**集客が期待できるイベントの実施**」「**地域内の観光、文化施設などと連携した集客サービスの開発**」「**物販、飲食などの商品開発での道の駅ブランドの開発、浸透**」がトップ3

新型コロナウイルス感染収束後の優先課題（マクロ）



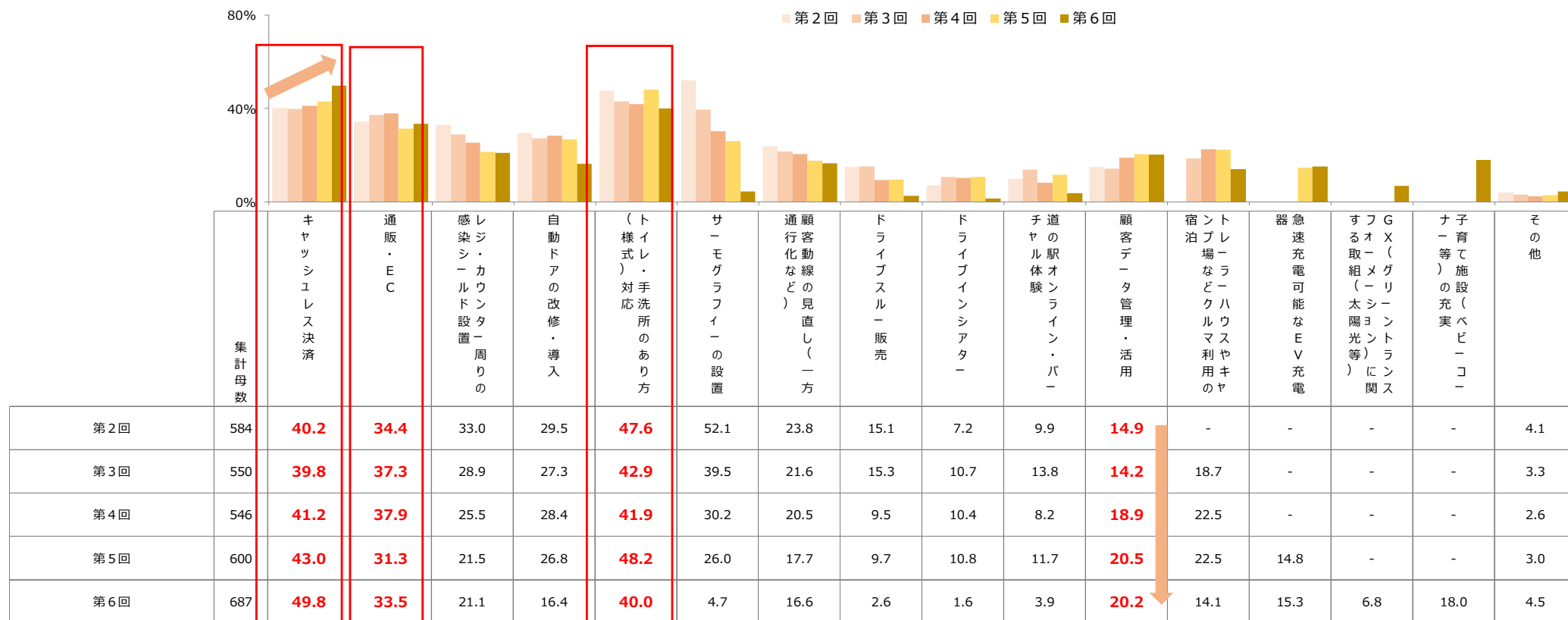


調査結果（新型コロナウイルス感染拡大収束後の優先課題）

【新型コロナウイルス感染拡大収束後の優先課題（ミクロ）】

- ・ 具体優先課題として、「**キャッシュレス決済**」「**トイレ・手洗所のあり方（様式）対応**」「**通販・EC**」がトップ3。また、「顧客データ管理・活用」が重要視されている傾向がみられる

新型コロナウイルス感染収束後の優先課題（ミクロ）





調査結果（興味関心のある「道の駅」サービスや商品）

【興味関心のある「道の駅」サービスや商品】

- ・「道の駅やその地元で開発された**特産品（そこにしかない「道の塩」など）**」トップ
- 「道の駅のデジタルスタンプを集められる（スタンプラリー）」
- 「イベント情報の共有・相互発信サイト開設・運営」
- 「道の駅で、他の道の駅の特産品が買える（地域野菜や特産物）」が上位に入る

興味関心のある「道の駅」サービスや商品

